

道具箱の中に常置する物 (道具箱は学校で用意します)**□のり ☆活動に合わせ、使いやすい方を**

・液体のり (水のり)

しっかりと接着させることができるので、厚みのあるものに向いています。

・スティックのり

プリントをノートに貼るときなど、薄い紙をしわなく貼るのに向いています。

・ポットタイプ

小学校では、同時に様々な作業を行うことがあり、指で塗るこのタイプでは活動がしづらくなることがあります。スティックのりか液体のりをご用意ください。

はじめは、液体のりでもスティックのりでも構いません。今後、活動の内容に応じて、両方必要になってきます。

**□はさみ ☆安全性を考慮して、キャップのある子供向けのものを**

使わない時はキャップをするように指導していますので、キャップのあるものが望ましいです。また、大人が普段使うような大きすぎるはさみは、子どもたちには使いづらいです。

**□クレヨン(クレパス) ☆オイルタイプのクレヨンを** (クレヨンとクーピーは別物です!)

クレヨン 発色が良く、柔らかいので子供にも扱いやすいです。こすれに弱く、手や机は汚れやすいです。オイルタイプで水を弾くので、水彩絵の具を重ねる学習に向いています。

クーピー 薄い色づきで、手が汚れにくいです。水彩絵の具を重ねるような学習には不向きです。

あわせて、クレパス用ガーゼをご用意ください。

ガーゼが望ましいですが、ハンカチでも代用できます。クレパスを拭くために使用します。

☆インドネシアで買える！おすすめ

日本のメーカーの海外仕様が売っています。

他の国のメーカーもあまり質は変わりません。

**→選ぶ際のポイント&注意**

- ① クレヨンは絵の具のように混色できないので、ピンク・グレー・オレンジ・ペールオレンジがあるものが望ましいです。描くものの幅が広がります。
- ② 「ワックス クレヨン」と書かれているものがありますが、クーピーですので、購入の際には注意が必要です。
- ③ 「水で落とせるクレヨン」を学習で使う際には確認を。
クレヨンは水彩絵の具とセットで使うことが多いですが、水で落とせるタイプのクレヨンは水で溶けますので、水彩絵の具と一緒に使う際には確認が必要です。

□色えんぴつ ☆お道具箱に収まる 12 色前後がおすすめ

・色えんぴつ

多すぎる色数は子供には使いこなせませんので、

12 色前後で発色のいいものが望ましいです。

・クーピー（ワックスクレヨン）

お子様の実態や学年に合わせて、色えんぴつと使い分けるとよいでしょう。



筆記用具

□筆箱 ☆箱形の飾りが少ないシンプルなものを

学習に集中するためにも、鉛筆キャップの必要がない箱形の筆箱が望ましいです。また、鉛筆削りや消しゴムケースなどの仕掛けの付いた物も集中を妨げますのでおすすめできません。

□えんぴつ

ひらがな・カタカナ・漢字の練習では6 B 鉛筆を使用します。その他、ノートをとる際などには2 B 以上の鉛筆を使用します。インドネシアでも購入することができます。常に筆箱には 2 B 鉛筆を 4～5 本、6 B 鉛筆を 1～2 本用意してください。



□赤えんぴつ

赤と青が一本になった“赤青えんぴつ”でも構いません。インドネシアでは赤青えんぴつは見かけません。インドネシアでは、色えんぴつのばら売りがありますので、それでも代用が可能です。常に筆箱の中に、赤鉛筆を 1 本用意してください。

□ネームペン

・油性タイプ

油性タイプのネームペンは必ずご用意ください。記名するときや普段の授業、図工でも使用します。



□消しゴム

よく消えるものをご用意ください。色つきのものや小さいものは消しづらく、学習には不向きです。

□ものさし

10～15cm で可動式でないものをご用意ください。常に筆箱の中に入れておきます。

□下敷き

ノートを書くときに使用します。

□連絡袋

A 4 サイズで中身が見える透明または半透明のものでチャックが付いているものが望ましいです。

ノート

国語10マス（十字リーダー入り）

算数7マス（横長）→2学期以降 14マス（十字リーダー入りが望ましいです）

※最初はそれぞれ1冊ずつ学校で準備します。2冊目以降は、学年だより等で連絡します

連絡帳（罫線の幅が広いものが望ましいです）

水泳用具

水着（華美でないもの） 水泳帽 タオル ゴーグル プールバッグ
（ラッシュガードを持ってきて構いませんが、フードのないものが望ましいです）

体操服セット

Tシャツ（できるだけ無地） ズボン 赤白帽子 体操服セットを入れる袋
※運動に適している無地のもの、素材や丈など、体を動かしやすいものにしてください

その他

ハンカチ（手を洗った後など、毎日使います）

タオル（あせをふくために、毎日使います）

水筒（保冷力のあるもの。大きさはお子さんと相談してください）

お弁当箱・お弁当用ナフキン

上履き（特に指定はありませんが、名前を書けるものにしてください）

上履き袋（週末に持って帰るために使用します）

縄跳び（成長に合わせて長さを調節できるものが望ましいです）

鍵盤ハーモニカ（32鍵あるもの）

手提げ袋（布製のもの 上履き袋や体操服セットをまとめて入れるために使います）

・お願いとお知らせ・

学校に持ってくる全てのものに、記名してください。（鉛筆やクレパスも1本ずつ）

1年生は自分の持ち物に対する意識が低く、ものを大変なくしやすいです。

華美なものや気が散るようなものは、勉強の妨げになります。できるだけシンプルなものが望ましいです。